

＜食品ロスについて＞

【調査の目的】

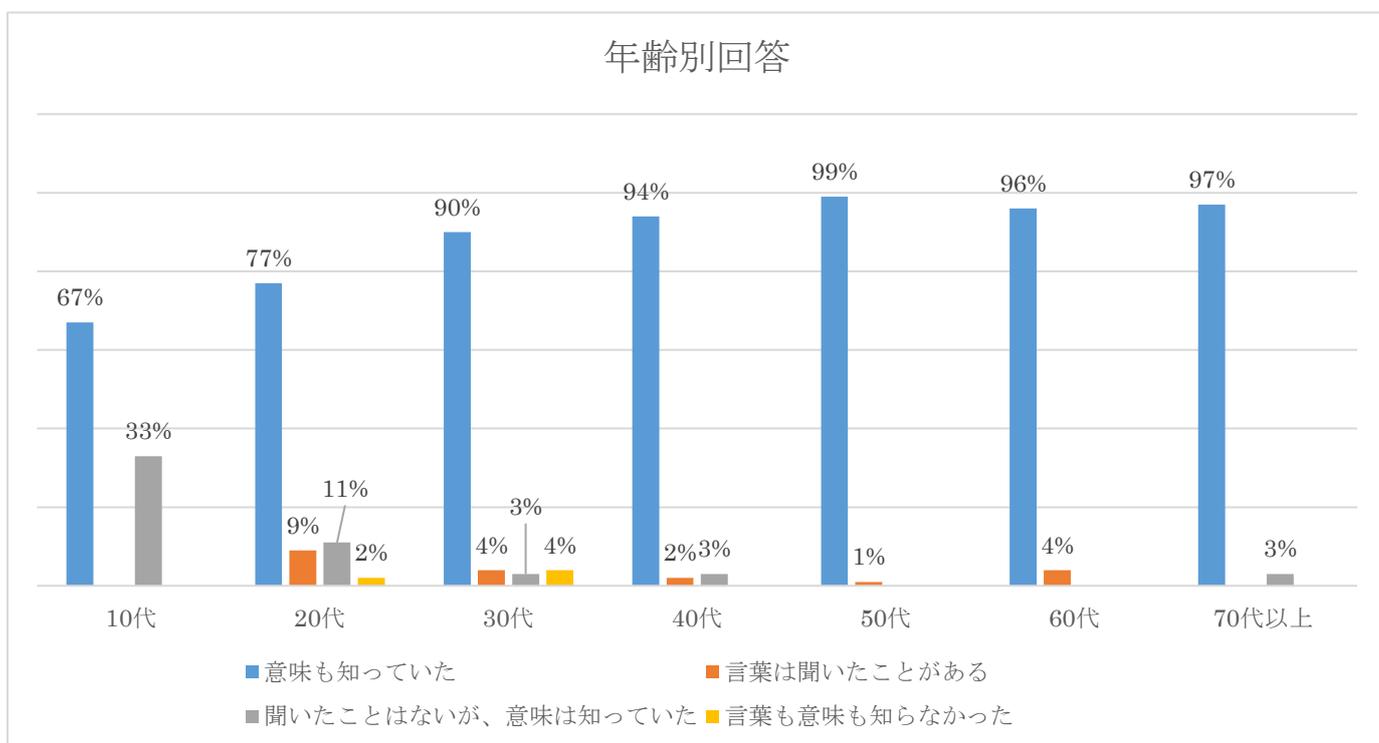
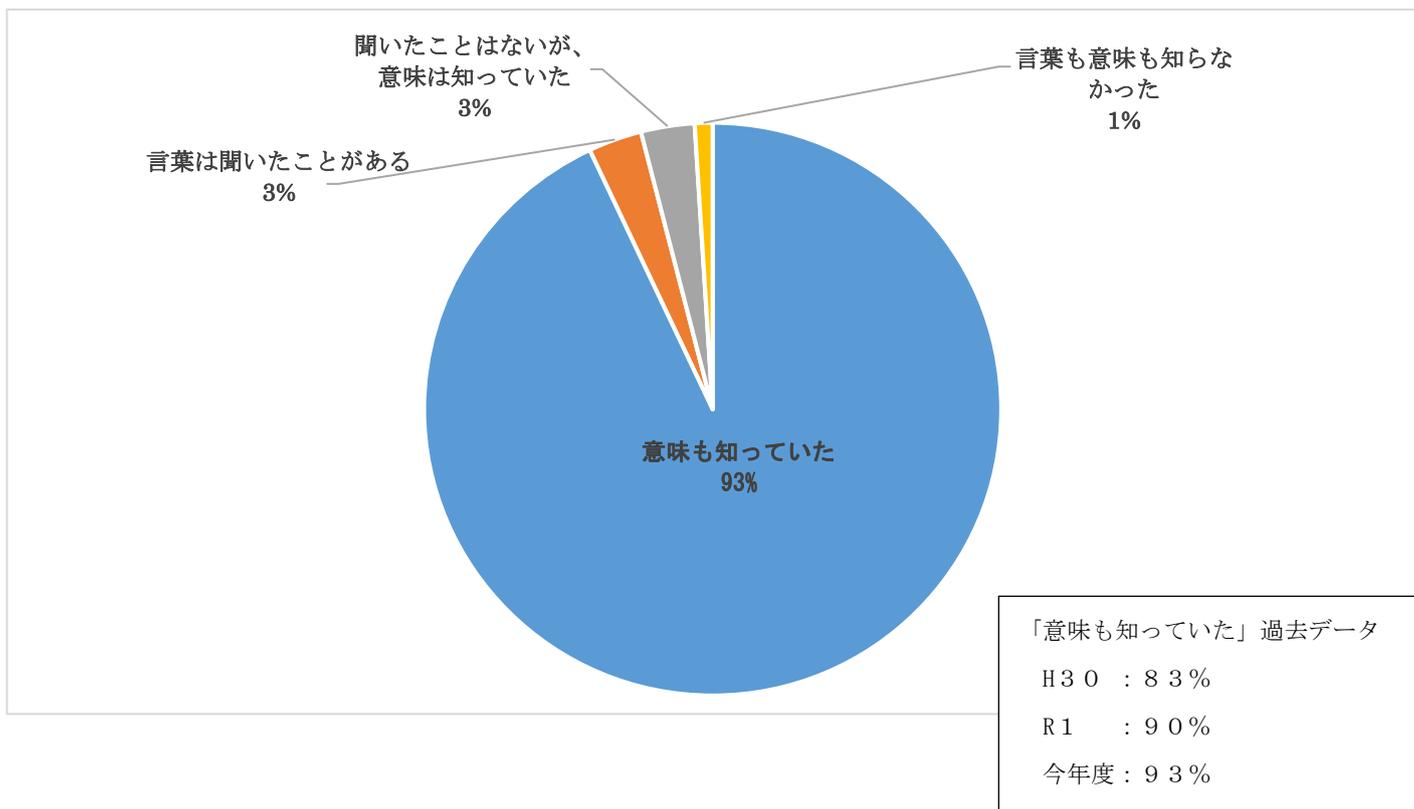
日本国内では、売れ残りや期限切れの食品、食べ残しなど、本来食べられたはずの、あるいは食べられるのに捨てられてしまう「食品ロス（フードロス）」が、国民一人当たり、毎日、おにぎり1～2個分（約1億2,700万人×132g×365日＝612万トン）発生しているといわれています。

福岡県では、この食品ロスの削減のため、事業者や県民の皆様と行政が一体となって県民運動として取り組んでおり、平成28年度から各種広報誌への広告掲載や街頭キャンペーンなどの啓発活動を実施してきました。

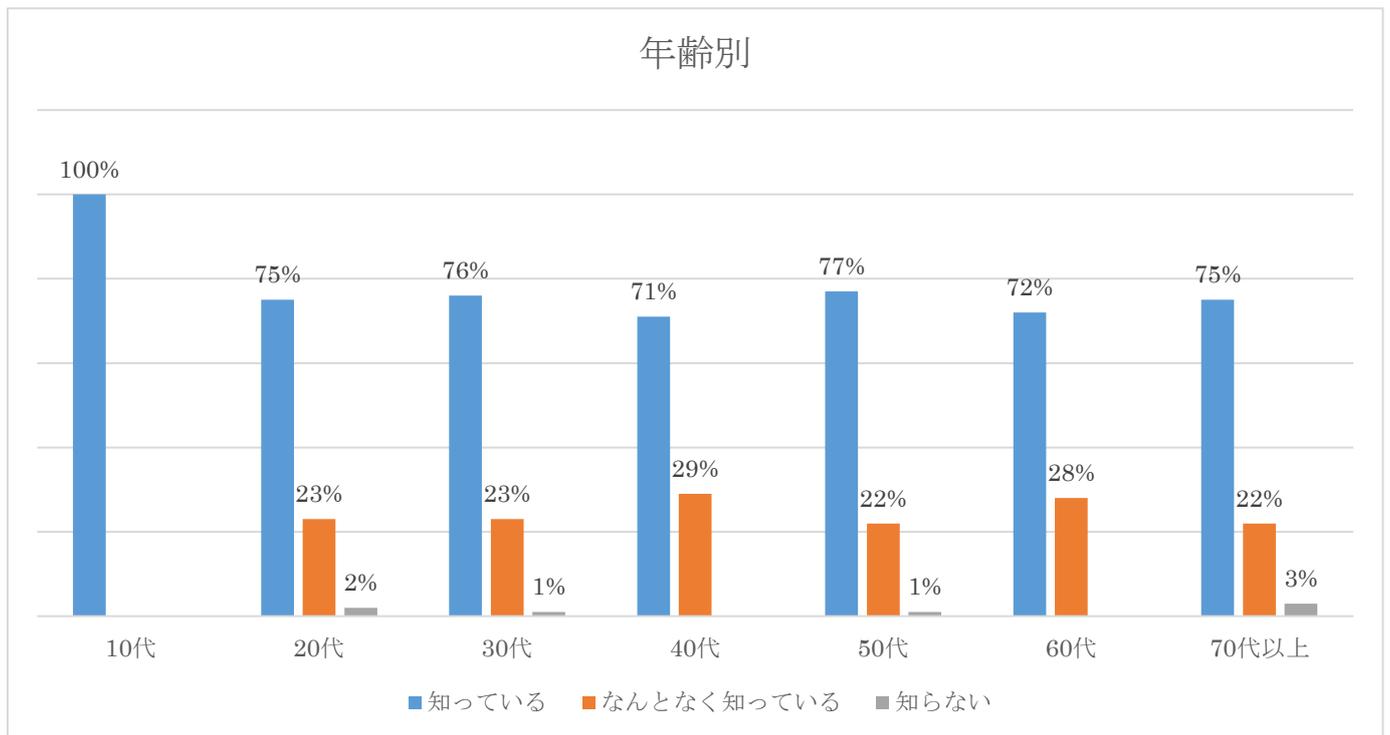
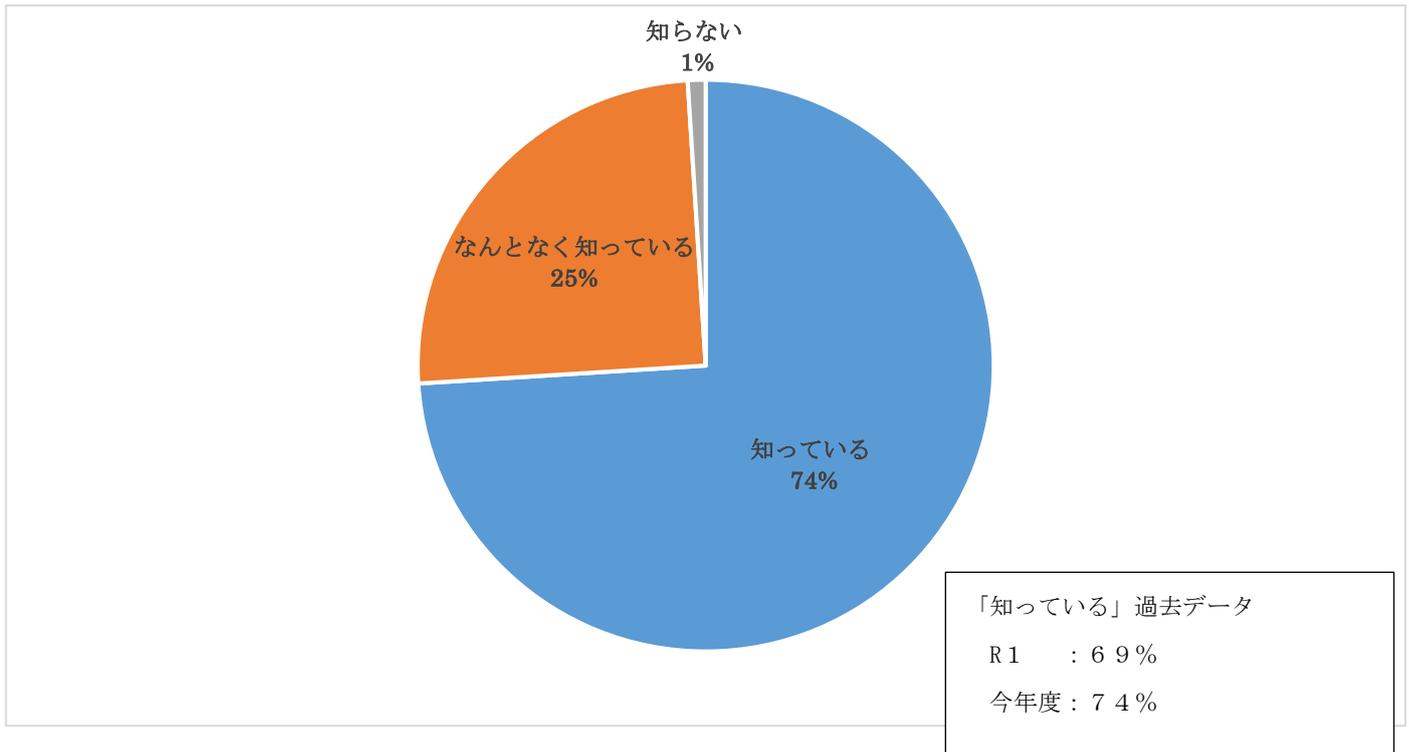
そこで、これまで啓発活動を行ってきた食品ロス削減に関する取組の認知度合いを把握させていただくとともに、「食品ロス」を減らす有効な取組について、皆様の御意見をお聞かせいただき、今後の行政施策の参考とさせていただきたいと思っております。

（環境部循環型社会推進課）

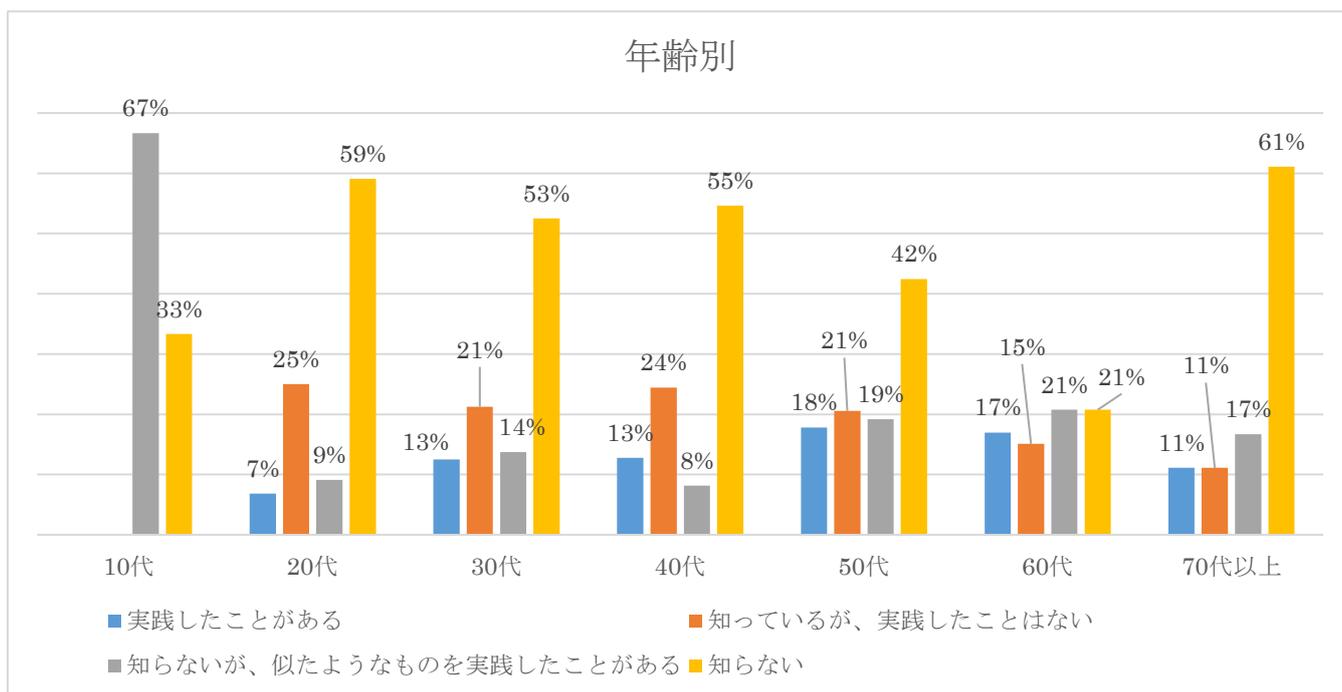
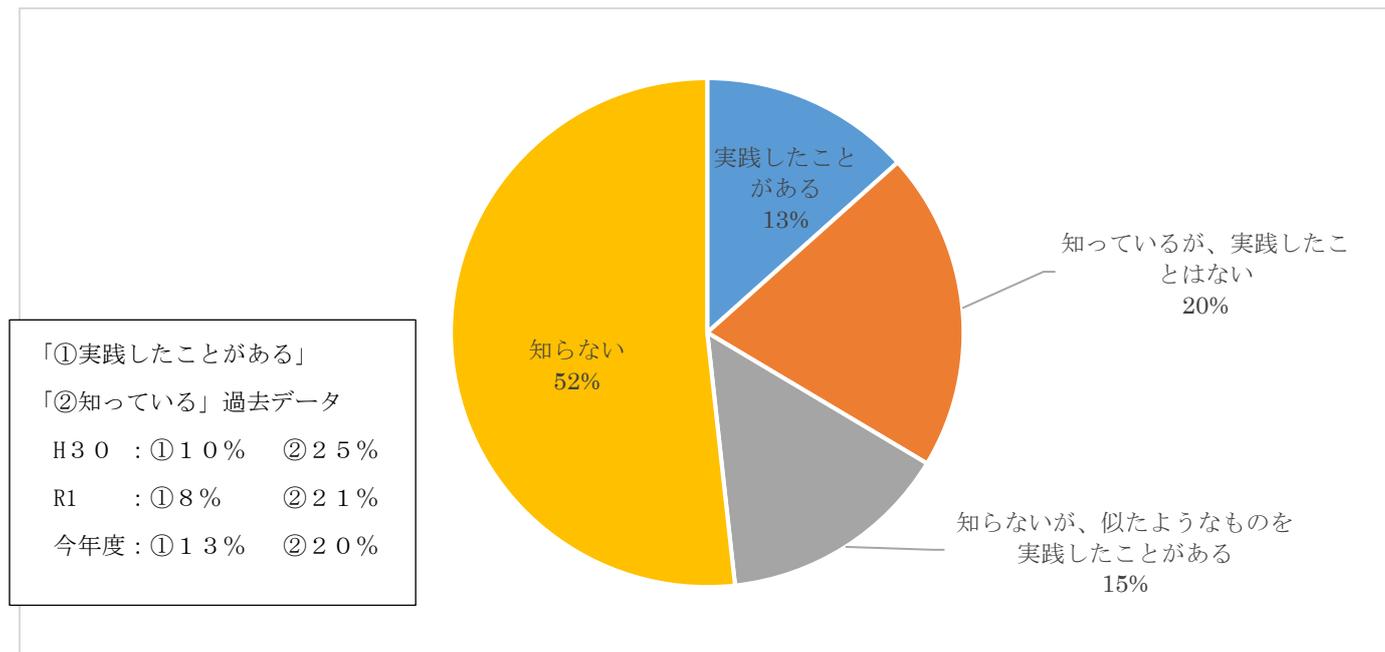
問1 「食品ロス」という言葉について聞いたことがありますか。また、その意味を知っていましたか。



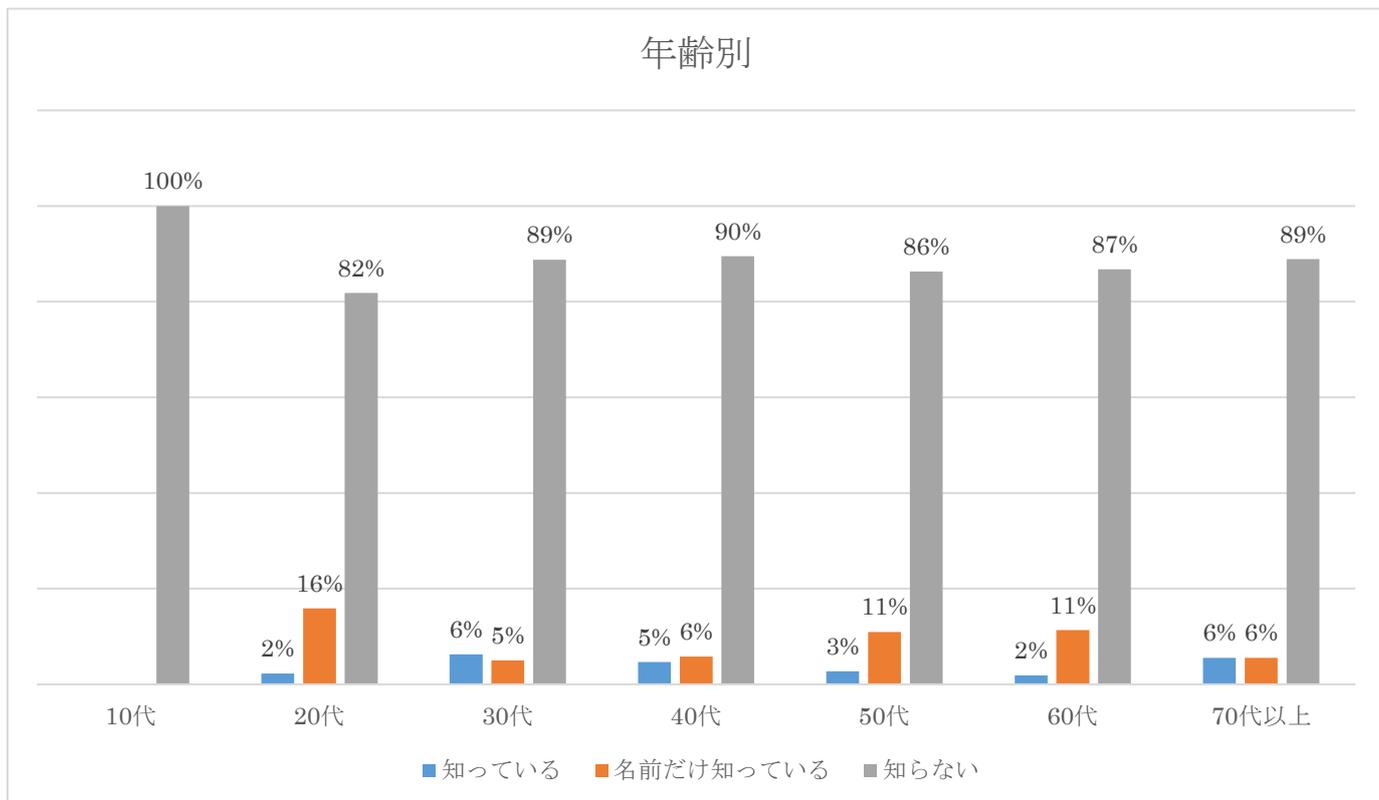
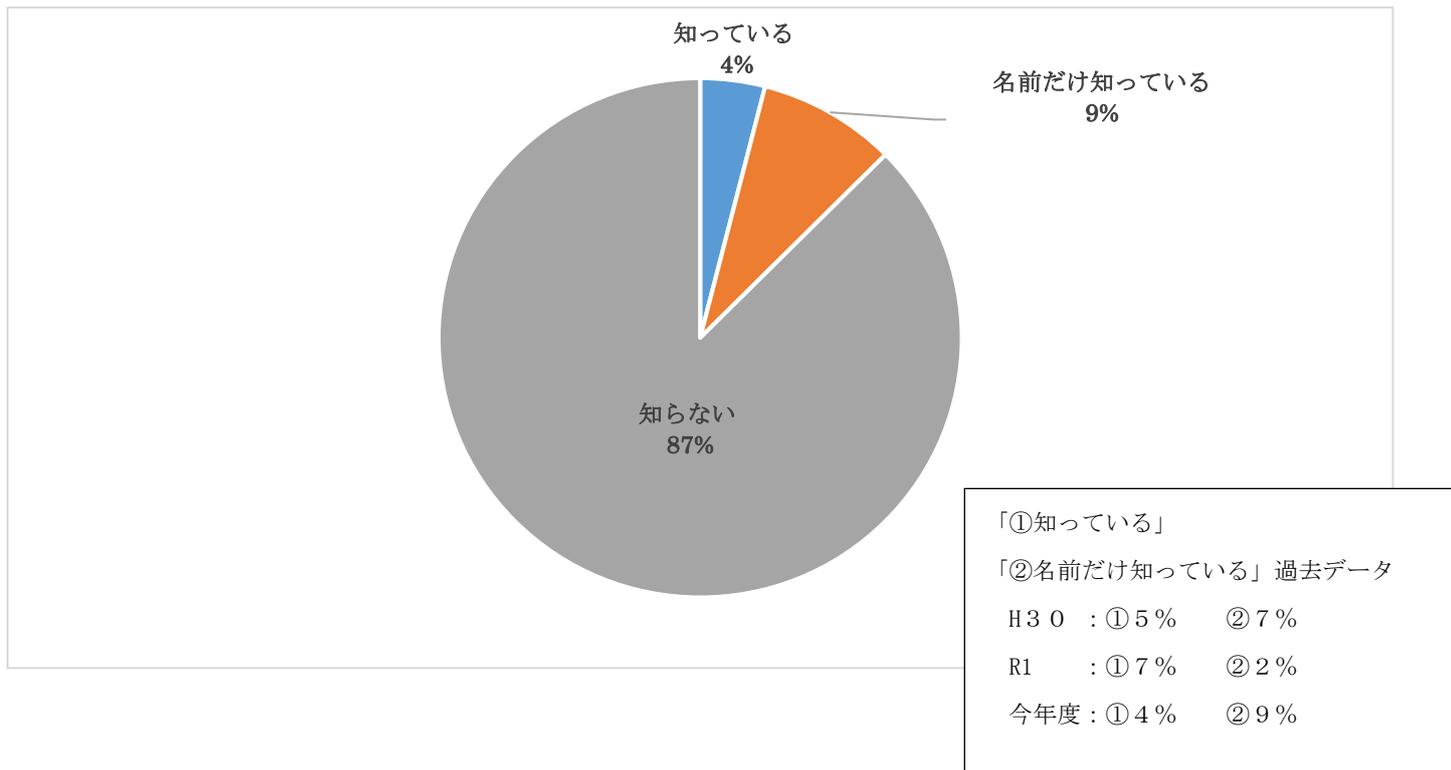
問2 「賞味期限」と「消費期限」の違いについて知っていますか。



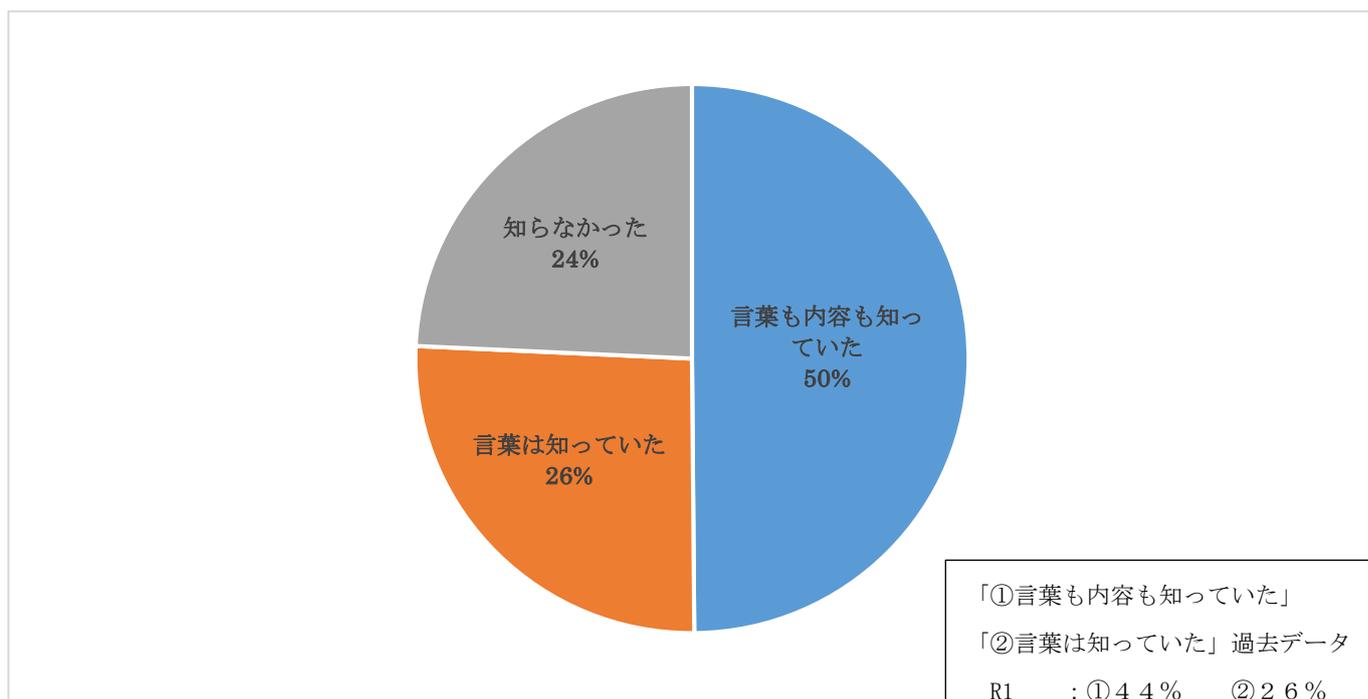
問3 宴会等で乾杯後30分と終了前10分は席について食事を楽しむことで、食べ残しを減らす「30・10運動」について知っていますか。また実践したことはありますか。



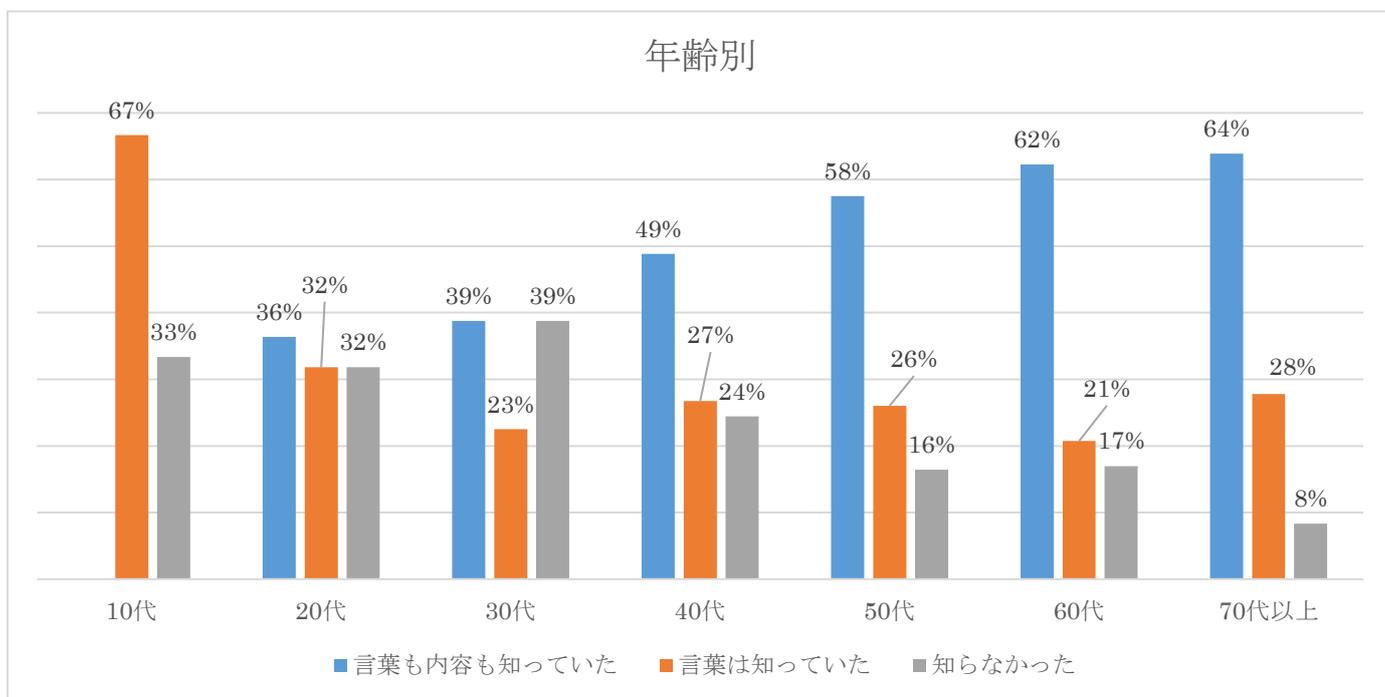
問4 「食べもの余らせん隊」について知っていますか。



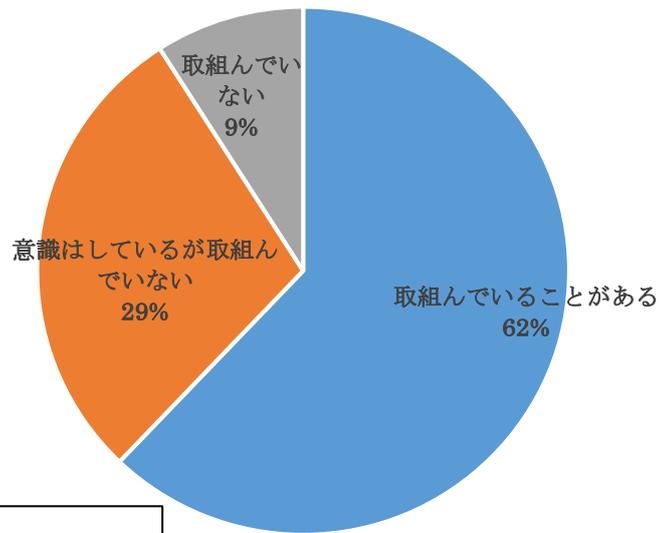
問5 食品企業の製造工程で発生する規格外品などを引き取り、福祉施設等へ無料で提供する団体や活動である「フードバンク」という言葉について聞いたことがありますか。またその内容について知っていましたか。



「①言葉も内容も知っていた」
 「②言葉は知っていた」 過去データ
 R1 : ①44% ②26%
 今年度 : ①50% ②26%



問6 実生活の中で食品ロス削減に取り組まれていますか。



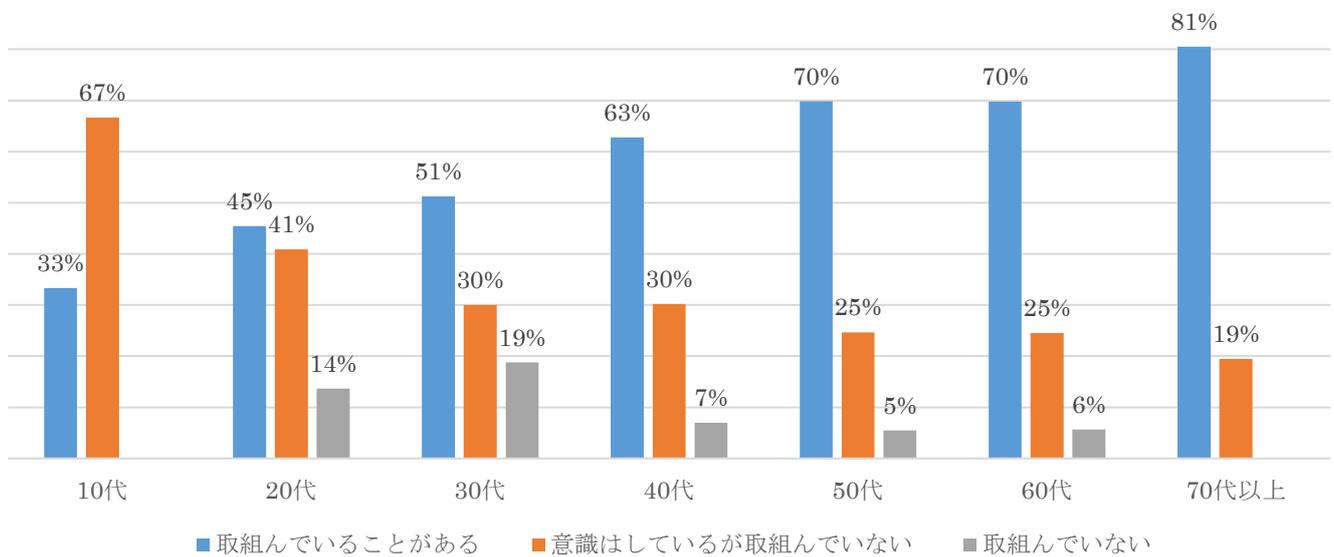
「①取組んでいることがある」

「②意識はしているが取組んでいない」過去データ

R1 : ①61% ②30%

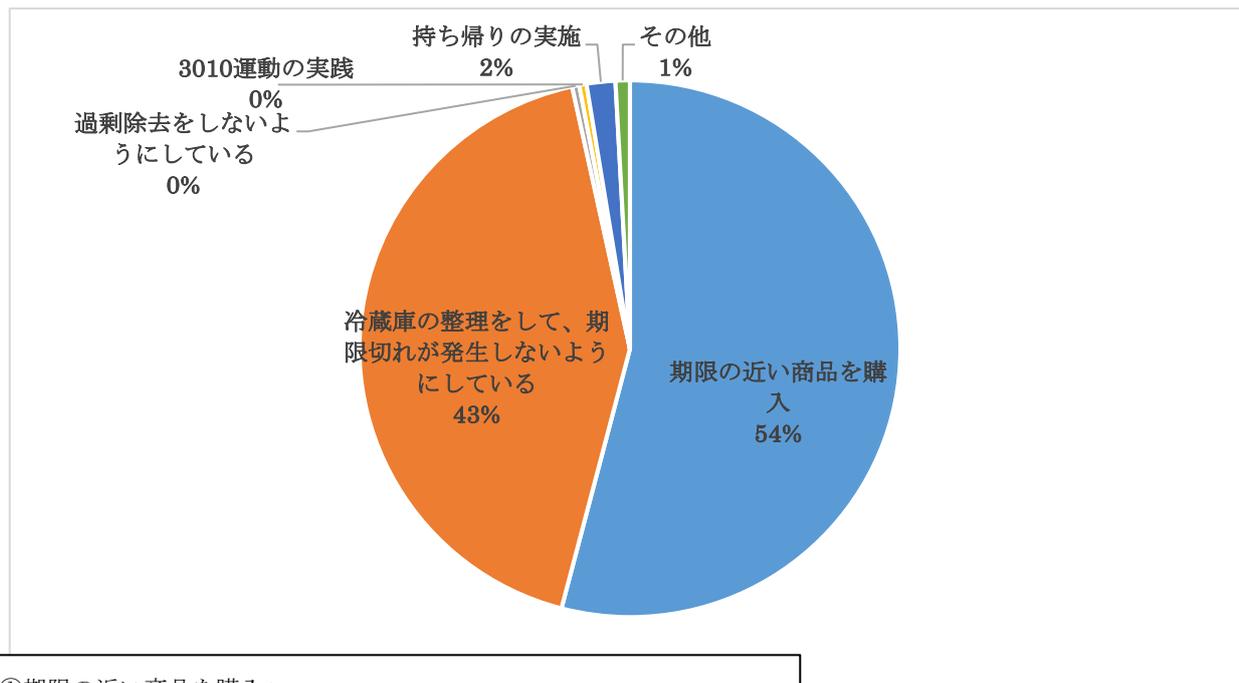
今年度 : ①62% ②29%

年齢別



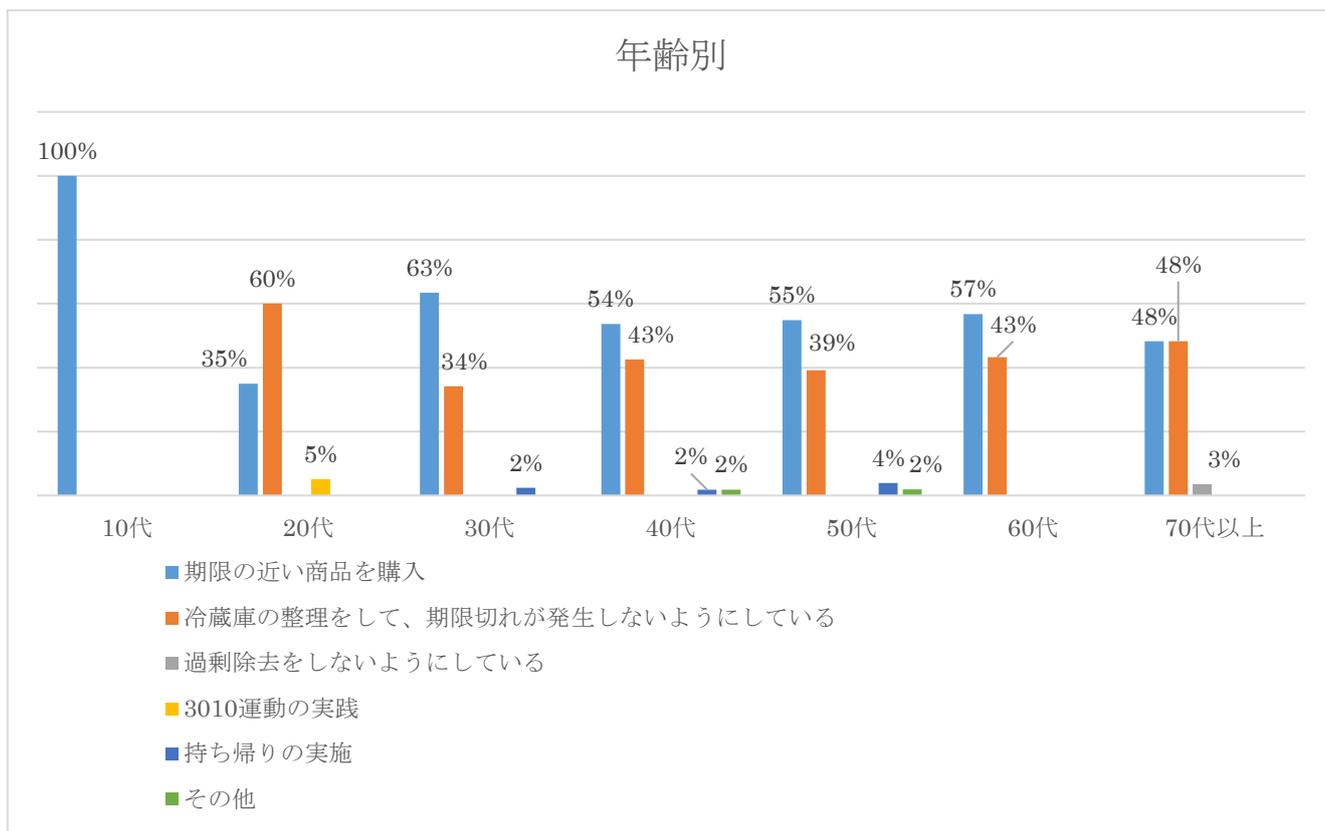
問7-1 (問6で「取り組んでいることがある」を選択した人)

食品ロス削減のため具体的にどのような取組みをされていますか。



「①期限の近い商品を購入」
 「②期限切れが発生しないようにしている」
 「③過剰除去をしないようにしている」
 「④3010 運動の実践」
 「⑤持ち帰りの実施」
 「⑥その他」 過去データ

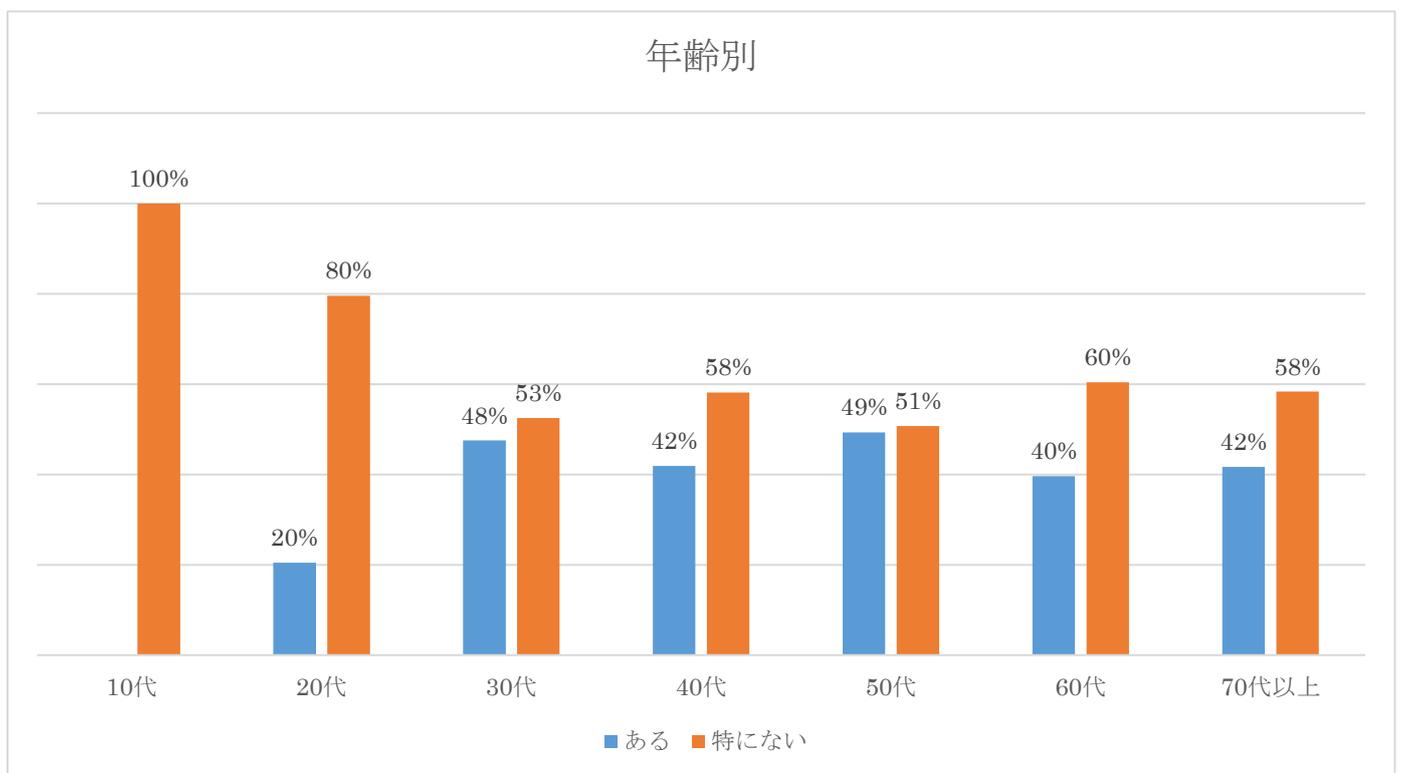
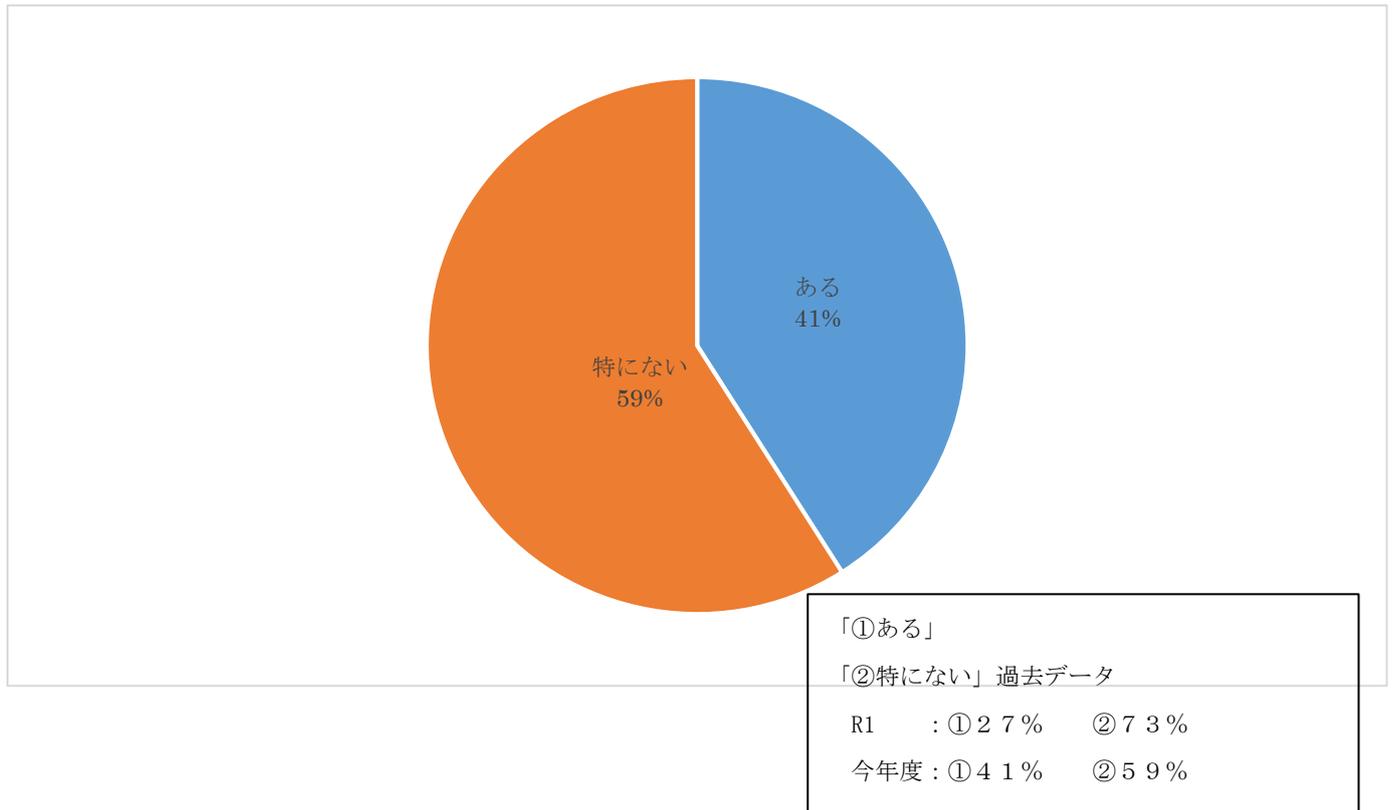
R1	: ① 5 0 %	② 4 5 %	③ 2 %	④ 0 %	⑤ 1 %	⑥ 2 %
今年度	: ① 5 4 %	② 4 3 %	③ 0 %	④ 0 %	⑤ 2 %	⑥ 1 %



問7ー2：その他の回答

- 夕方になると、割引シールが貼られるので、そのシールが付いている商品を買っている。
- 自宅でも外食でも自分の分は絶対に残さず食べている。
- 買った食材は小分けにして冷凍する（傷まずに使い切れるように）。
- 外食の時に最初から食べきれなさそうな時は出来るものは少なくしてもらうようにしています。
- 外食の際には食べきれる量を注文するようにしている。
- 腐らせて捨てる事が無いように、なるべく冷凍保存している。
- 毎日の夕食のレシピのダイアリーを記録していて、残った食材をいかに翌日以降に使うかを考えている。また、スーパーの買い物では、値下げ品や見切り品を優先して購入する。この食材が食品ロスにつながるかどうかの瀬戸際だといつも考えている。特に問題なく食べられるので安くて助かっている。
- 最寄りでフードバンクの取り組みがあれば、家庭で賞味期限内に食べきるのが難しいと判断した商品を提供する（賞味期限まで残り1ヶ月以上ある商品）。
- 私は生の食材（生野菜など）の購入を最低限に抑えて、乾物を買置きしておいて物足りない時に活用しています。そうすれば家庭内で食材が余って腐ってしまうことが減らせます。また、流通する食材のうち乾物の比率が高まれば流通途中での腐敗による食材の処分を減らせるのではないかと思います。
- 私の夫がボランティアをしており、留学生の食糧支援のために、この28日に食品卸のヤマエ久野の食品部長に会い各メーカーに協力を要請してもらう話をしに行く予定です。この企画は年内なので来年からはフードバンクや子供食堂の支援に繋げる予定です。是非、**県の方も一緒に取り組みとバックアップをお願いいたします。**
- バイキング形式の食事の場合、同席の家族などに少しずつ取るように促し、極力食べ残しをしないように勧めている。 など

問8 食品ロスについて、これまでの設問以外に意見がありますか。



問8：「ある」と回答

- 食品ロスについての教育はこれから推進される余地があると思います。私も「新しいもの」「新鮮なもの」が良いという認識が強く、賞味期限の近いものや品質の良くないもの（色み、形など）は避けようとする意識があると感じます。食品ロスの現状を正しく伝えるとともに、まずは一人ひとりの意識を変えていくことが大切だと感じます。
- 30・10運動については、私が学生だからかもしれませんが、今まで全く知りませんでした。ですが今回のアンケートで内容を知り、有効だと感じたため、新型コロナウイルスが収束し、また宴会などができる日常が訪れた時には、**宴会での常識として広める広報活動等があれば良いと思いました。**
- 廃棄される食材はまだ食べられるものばかりでもったいないと思います。ただ、食中毒などの問題を考えると致し方ないというのも理解できます。
- コロナで廃棄が出ている食材を買いたいと思ったのですが、どうすればいいか分からなかったのが、地元の農家さんを気軽に応援できるしくみがあれば嬉しいです。輸送だとコストがかかるので、仮設の小屋などで**地域のベジブロスイベントがあればいいな**と思います。
- 数年前から家庭菜園を始め、短い期間で同じ種類の野菜が過剰にできてしまうという経験を何度もしてきました。また、近所の農家さんが形の悪いものや傷のある野菜を廃棄しているのをよく見かけます。異常気象の影響で農家さんもきれいな野菜がなかなかできず苦勞されているようです。形の悪いもの、傷があるもの、虫食いがあるものなどは調理次第でいくらかでも利用できると思います。**学校給食などで利用できると農家さんも廃棄が減り、学校も安くたくさんの野菜を入手できていいのではないかと思います。**
スーパーなどには置けないような野菜を格安で販売する方法などが整ってくると助かるなと思います。
- 食品ロスの取り組みについては広報不足を感じます。福岡県としての取り組みをされている事を今回のアンケートで初めて知りました。**市民や食品及び食材取扱い事業者が食品ロスをなくす為の積極的活動をしないとなくなれない**と思います。まずは大きなロスを発生している小売り業者への取り組みが必要と感じます。
- 食品企業の製造工程で発生する規格外品などを福祉施設等だけに配布するのでは無く、一般市民も申し込めば貰えるシステム等を導入すればと思う。
- 各種広報誌への広告掲載や街頭キャンペーンなどの啓発活動とありましたが、平成28年度の時から、ずっと福岡県に住んでいますが、食べもの余らせん隊や「30・10運動」のことは初めて聞きました。**もう少し啓蒙のやり方を、工夫したほうがいいのではないのでしょうか。**
- テレビ局のグルメ番組について、意見があります。テレビ局のスタッフやタレントが人気の料理店で提供された料理を一口、二口食べて残りは手つかずのまま退出し、別の店舗でも同じ、またその次の店舗でも同じように食べ残したままという具合に残飯の山を築いている番組が横行している。このようなパフォーマンスが許されてよいのだろうか。県を挙げて食品ロスの改善に向けて取り組んでいる最中、関係者の猛省を促したい。